

本草秘訣

六

特1
3405

類
造釀類



本草秘訣卷之六

五穀出于群書拾陸

禾 麻 粟 豆 麥

黍 稷 麻 麥 豆 月令四時所食

六穀

黍

稷

粟 稻 一作徐晚禾也

粱 糯粟

苽 彫胡音孤

麥

九穀 周礼三農生九穀

黍 稷 粱 麻 麥 秫 苽 豆

又按爾雅粱者黍稷之總名稻者既種之總名菽者
衆豆之總名三穀各二十種為六十蔬果之屬助穀各二



十種凡百穀
五穀者以五行所屬而言九穀者以三農所生而言百穀者以其多而言也

五牙者出于石菜尔雅

穀 粟 豆 黍 大麥等之牙是也

一本云 粟 黍 蕎 豆 麥

五飯出于群書拾唾

春食麥 夏食菽 季夏食稷 秋食麻 冬食黍

宋四賦出于群書拾唾

穀其品七曰粟曰稻曰麥曰黍曰稷曰菽曰雜子

帛其品十曰羅曰綾曰絹曰絲曰線曰紗曰絕曰細曰雜

折線曰麻葛

金鐵 其品四曰金曰銀曰銅曰鐵

物產 其品六曰六畜曰蠶華翎毛曰茶塩曰竹木雜草芻

菜曰果葉油紙薪炭漆蠟曰麻物

綱目第二十二卷

麻麥稻部 十二種

胡麻 和名ゴマ

藥用黑胡麻ヲ用ニ巨勝ハ即胡麻也方書巨勝ト有ル



ハ黒胡麻ヲ可用

種諸豆子油麻大麻等

郭橐駝種樹曰種諸豆子油麻大麻若不及時去草心為
草所蠹耗虫結實亦不多

諺云麻耘地豆耗花麻須初生時耘豆雖開花亦可耘

異名 芝麻 方金 鴻藏 烏麻 藤弘 事物異名集

唐名 シヨルセリン

救荒本草之油子苗者即胡麻也

服食法採嫩苗葉煤熟水浸淘洗淨油塩調食其子亦可
炊熟食或煮食及榨為油食皆可也

馮氏錦囊秘録云胡麻一名巨勝即今之脂麻也

釈名ノ方勝ハ造花ノ羊十切り揃ヘ夕様十事也

苜蓿ハアサノミ四稜六稜ハワノカドノ事ナリ

大藜子アカザノ事黄麻子ハアサノミ即大麻子也

麻枯餅ゴマノシホリカスナリ

青蘘 胡麻ノ葉也 胡麻花 麻糍 コマガラ

朱華子本草新編曰巨勝子非胡麻也此葉宜入丸而不
宜湯煎則味不能出也

花鏡曰本草詩云胡麻好種無人種正是歸時君不歸

亞麻 和名 シラミダマ スメゴマ

此ハ常ノニ比又レハ大而薄ニ下品ノ者ナリ

大麻 和名 アサ

有二種 花アサ ミアサ 花アサハ花サヒテ実不

成実アサハミノリテ花不咲

六書正詁曰从林音泝麻片也从广人在屋下治广之意俗作麻从木非也

種麻 汜勝之書云種麻預調和田二月下旬同上旬傍
兩種之麻生布葉鋤之率九尺一樹々高一尺以蚕矢糞
之樹三升無蚕矢以溷中熟糞其之亦善樹一升天旱以流
水澆之樹五升無流水曝井水穀其寒氣以澆之雨澤適

時勿澆々不欲類養麻如此美田則畝五十石及百石薄
田尚三十石獲麻之法霜下實成速研之其樹大者以鋸
々之崔寔曰二三月可種苴麻々之有實者為苴

崔寔曰夏至先後各五日可種牡麻牡麻有花無實

凡五穀地畔近道者多為六畜所犯宜種胡麻子以上出
于齊民要術

郭橐駝種樹曰種諸^豆子油麻大麻等若不及時不去草
心為草所蠹耗虫結實亦不多諺云麻耘地豆耗花麻須
初生時耘豆虫閑花亦可耘

吐乙麻 冬麻子 出鄉藥月令

鄉藥月令云麻蕒即麻花

上粉

小麥 和名 コムキ シロコムキ ヤツコムキ

タツノクコムキ タツカシラ アカコムキ

ハ子コムキ ケコムキ ケナシコムキ

ボウスコムキ ムカテコムキ オニコムキ

イシハリ

上品之者ヲラニト云實圓而肥大也

下品之者ヲバチト云實薄而瘦也此ハ麩屋ニ用ル上品也其外麩ニ作ルハ中品也

集解下 蚕沙カイコノフシ 漫撒種ヲツカミマク

癸明下 孚甲正字通云稔甲也穗也

浮麥 シイナムキ ミナシムキ 麩麥 ノカス カラフ

麩 ヒヤムキノコ 麥粉 セウフ 麩筋フ 麥麩 ムギハツ

タイ 麥奴 カラスムキ クロシホ 麥苗 ムキ 稔 ムキハ

飢饉 李時食物本草云以麩團煮熟食之曰麩飢饉味甘食之養胃充饑易於消化多食不傷云云

大麥 和名 オホムキ 此ハ種類多シ

異名 芭殼 布亥 牙立 崆峒子事物異名集

和名 トシノサ フトムキ 三月ムキ 一名 ハヤ麥

ケアラムキ ボウヅアラムキ シロアラムキ



キンヒラクモズ ジシトウ ヨシノムキ

モチムキ

麥歌 山カケノハタケニ 苧ホヌムキノ穂ノクダケ

テ物ヲ思フコト哉

種蒔し木ノ下麥ノ穂ニ出テ風ニ秋アル山畑ノ菴出共

于夫木集

裸麥ハタカムキ 襦麥シロムキ

稷麥シイダムキ

穧麥

和名 ムムムキ 弘法ムキ

此ハオウムキノ下呂ノ者也

作屑与合穀 コニスルトコニセサルトナリ

雀麥

和名 カラスムキ チヤヒキ草

シロ子カルカヤ ワシモカウモ此類ナリ

若水定ノ 雀麥カルカヤ 燕麥チヤヒキグサ

救荒本草燕麥雀麥ヲ別テ二條トス此ハ同類別種也

故ニ雀麥ヲカルカヤト云燕麥ヲチヤヒキクサト云

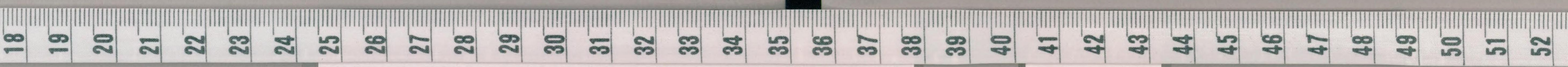
苧萱哥 カチ人ノ往キ来ノ固ノカルカヤハ折レ卧

スカタヤ道ト成ラシ頼家

雀麥 本草一名 鶯麥一名 鶯 音藥 生于荒野林下今處

々有之苗似燕麥而又細弱結穗像麥穗而極細小每穗

又分作小又穗十數個子甚細小味甘性平無毒



救饑 採子春去皮搗作麩蒸食作餅食亦可也

燕麥 救荒本草云田野處々有之其苗似麥攬莖但細弱葉亦瘦細掃莖而生結細長穗其麥粒極細小味甘採子春去皮搗磨為麩食

博物志云食燕麥令人骨節斷解

細目雀麥燕麥為一物非也

蕎麥

和名 コソバ コメソバ スライソバ

ソバ フニソバ フクソバ フバ

湯餅 ウトシ河漏 ソバキリ

集解下 烏柏樹葉ノキヨウセシハセ リウキウハセ

蒜 ニシニク

蕎麥名産凡農家無所種莧蕎麥其中山城宇治新田産者為上其味甜美其氣芳烈故亦其價貴於他處産一等而攝別服部産者次之信列産者次之其餘所産為下品舉世以信列為上品者殊不知蕎麥之真味之說也

苦蕎麥 無和産 ヤソバト云非也

ヤソバハ葉ノ似タル斗也

稻松ニ生タソバヤソバト云非也別ニ漢名有リ

イヌソバ ミソソバ 佐列ニテウシノヒタイ豊後

ニテ牛面草



稻

和名 毛千コメ

此ハ稻ト云ハモ千米ウル米ノ總名也

和産近江篠原ヲ為上俗ニ篠原餅ト云テ為佳無柔剛

長延也此物可以為餅矣又赤飯ニハ悪シ西國者ハ餅

ニ悪シ此ハ菓子道明寺ニ佳也餅ニスレバ煮テ解ヤ

スシ飴シヤウセシヲコシコメニ甚ヨシ

赤飯ニハ京都西國為上餅ニハ悪シ餅ノ名物處々多

シ

粢モ千ヤウ 神へ供スル洗米ヲ云ナリ俗シトギト呼

饅之別名

穀類此ハイ子ノホノサキノナリ

稻 異名 毛千コメ 匣刺阿木 事物異名集

糯米 異名 糯俗糯字与糲同乃人切音需ウルコメ

粘米 秋米 充々児還 事物異名集

早苗哥 早苗採御田乃植芽毛色々乃袖ヲ連テ祝今

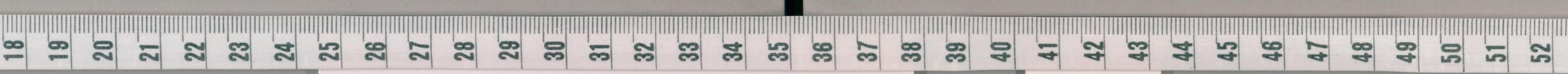
日哉

郭公声ニ植女乃ハヤサシテ山田ノ早苗タユマテブ

トル

早稻ハセ 糠ウルコメ也 京ハセ 大ハセ 白ハセ

赤ハセ 山田ハセ 北國ハセ 河内ハセ



駿河ハセ ヒゲハセ カラハセ 千シコハセ

テハイハセ スクハリハセ 此外類多し十四色

中稻^{ヲタテ}ハセ 大川 コシラセ ナカスクバリ

白コ^{ハセ}ハセ イカスクバリ ヲヤマ

ハマナカデ シマコボセ ホウツイカ ハノチ

トテ ホシロ 近江中テイクヒ コハラ 以上十

六色

晚稻^{ヲクテ}ハセ 一名ツカハ 一名ヲツトセイ

三名一物 カナタコボセ 一名タハラタラズ 二名一物

子ゴロスクバリ タチコボセ コボセ コツブ

ダイヨクヨド タニビカリ 子タロ ヲフシ

キヤウデシ サイロク 伊勢ハヤリ 以上十六色

ナリ

類 和名 ウルコノ 常ニ食物ニ用ル米也

和産 越中新川加洲新川越後上品也 播洲 江洲

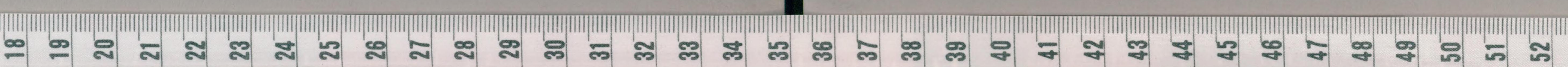
五畿内 豊後 肥後 味美也俱上品也 對洲

薩洲 雲洲 羽洲 仙臺 妹田 俱下品也

近年一種甲洲ヨリ作出シ 形状似粳而赤色也 倭俗云

是黄米又赤米ト云

案^{ヲカタイトウ}ハタケイ子ト云物



粳 異名 散米 事物異名集

米ハ五畿内ヲ為上悪キ處也

有七八分良也サテ江州又播州又三河又尾張也

公方家御膳米也

四國ニテハ讃岐九州ニテハ肥前肥後サテ中國米ヲ

為吉北國筋テハ加賀為上為飯而悪シ粘ニ煮テ良シ

外ハ粘ニ煮テ悪シ下品ハ薩州也又出雲ノ松江也北

國ノ上品ハ加賀領内越中ノ新川也次テハ加賀也

粳穀奴 カラスイ子 禾稗 ハラ 附録ニ附ル物アリ

飯 和名ハ也 急就章曰飯之言散也熟稻米飯使糞散也

古謂之張皇亦目其開張而大也又難波キヒノヒ子タ

ルヲイリテモ作ル也

私 和名 タイトウコノ

此物北國筋越前ニ多作也此物血ノ薬ト云也血病ニ

ハ可食之為飯而悪為粥而佳也

又此ニモモチコノ有リ和名トウボシト云土民作テ

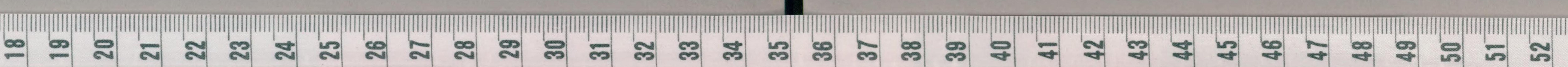
不益故不作此ハ上品者也此ヲフクミテ糠ヲ去リ作

餅而甚佳也病人ニ無害也

又赤白ニ色文ノ物カスケト云薩州又備前ノ鹿島ヨ

リ多出ッタイトウコノハ薩州ヨリ出ス備前ノ鹿島

同佐賀ヨリ多出ス



秈米 餅米上品也病人ニ吉上田ニ作之下田ニ不出

西國米 和名 サゴヘイ 瀛涯勝覽曰西國米山野

有樹名汝孤樹以此物之皮如中國葛根搗浸濾其粉作

丸如菜豆大曝乾而賣作飲喫

長壽商人相傳云本出於滿刺加國^{子口}漉泥國等似米帶微

赤色味淡甘煮粥食健脾胃因病人用之

私赤白二色交ノ物カスゲト云薩州又備前麻嶋ヨリ

多出スタイトウ米ハ薩州備前麻島同佐賀ヨリ多ク

出ス

綱目第二十三卷

稷粟類十八種

稷 和名 キヒ コキヒ キヒノ中ノ小ナル物也

程

異名 稊種 小米 事物異名集

詩經王風彼黍離々彼稷之穗朱注稷亦穀也一名稊似

黍而小或曰粟也ト云非也又朱注黍穀名苗似蘆高丈

黑色實圓重

糜

和名注糜當作糜 アカキヒ 和名 秬ク口キヒ

正誤下 蘆 ヨシ 蘆稊 トウキヒ

黍 和名 モチキヒ ウツラキヒ

メク口キヒ
チシコキヒ
アカキヒ

異名 薺合 異名集

穀名 薺 アカキヒ 芭 シロキヒ 秬 モミノ中ニ二粒ア

南音由尊有三品上曰粳中曰白下曰粳郭璞曰白不

大不小粳粳之間

律考成法也律呂者萬法所出故法令謂之律

黍从禾兩ノ省ク声孔子曰黍可為酒禾入水也然則又

以禾入水三字合而為黍不但从兩入水

黍屬 小早三月種六月收江西早三月種七月初收

頸早宜肥田三月種七月半收福德早三月種九月收黃

竹早宜飽水四月種七月熟黃穀早三月種九月收以上

出於建陽縣誌

集解下 以黍雪桃 見于家語子路篇及韓子等

附録 野黍 救荒本草云生荒中科苗皆類家黍而莖

葉細弱穗甚瘦小黍粒亦極細小味甜性微温

採子春去粗糖或搗或磨麪蒸餅食甚甜

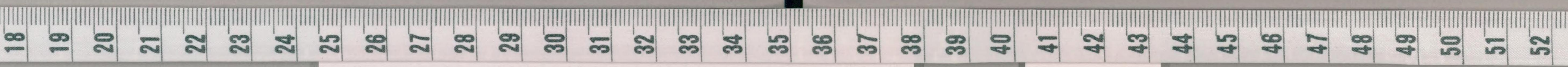
衢州府志云三元壽書云黍米癸宿疾久食好睡小兒食

不能行白黍久食多熟令人煩赤黍不可合蜜五種黍米

合羹食之成痼疾

孔子侍坐於哀公、賜之桃与黍焉、哀公曰請用孔子先食黍而後食桃、左右皆掩口而笑、子曰黍者所以雪也、孔子對曰丘知之矣、然夫黍者五穀之長、祀宗廟以為上、盛果屬有六而桃為下、祭祀不用、不登於廟、丘聞之君子以賤雪貴、不肖以貴雪、野今以五穀之長雪果之下者、合羹食之成痼疾、是從上雪下、臣以爲妨於教、害於義、敢不敢、曰善哉、出于家語子路初見篇

蜀黍 和名 トウキヒ モロコシキヒ



タカキヒ 阿波方言

博物志云地三年種蜀黍其後七年多蛇

玉蜀黍 和名 カウライキビ ナレハレキビ

タマキビ

集解下 稷魚 シユロノ実 秣 秣イダムキ シイナ

梁 和名 ラホアハ オニアハ

貧民ノ糧也シ、クワズ下品也民作甚益有テ多ク生
ス

集解下 青稞 ハタカムキ 釀酒甚消玉 玉ヲ細ユスル

如ク自由ニ色々ツカウ事 黄梁米 青梁米

粟 和名 ウルアハ コアハ

用腫気病多有効与杏仁桑白皮食之多有毒

趕麥黃百日糧寒露粟皆粟之種類也

衛州府志云三元壽書云食粟米後勿食杏仁令人吐瀉

粟米 粟汁 粟糖 粟奴 粟稷

粟廩米 粟藜米

秫 モチアハ 餅ニ造シル者也

糝 糝タシコノ類也

秋米

集解下 秬 秬 ウルモチ

糝子 ノヒエ クサヒエ イヌヒエ

蔗草 アシヨシノ類 莢 マコモ 鷹爪 タカノツメ

採子 搗米煮粥或磨作麵蒸食亦可也

稗 ヒエ

黒白ノ二種有リ

稗 一種ノヒエ也 稗杜兮切音題 似稗布地而生稗有

米而細也

茶褐色 ス、タケ色 蝶ケラ 蚓ミ、ツ

狼尾草 千カラクサ ミチシバ イヌツハナ

状千カヤニ似テ細シ 麥ノ穂ニ似タリ

草 一作米食物本草云 一名孟狼尾

東廩 先輩ツルアワト云未見

菰米 マコモノ実 莢モ同シ

蒲ガマ 葦アシ 芳アシノハ

蓬草子 イヌアハ 一名 アハカヘリト説有リ

アワラカト云説有リ 未詳

飛蓬 轉蓬 欽和名ウタヨモギ 金錢花ノ葉ニ似テ頭ニ

白花有リ 散テ絮有リ

芮草 草大觀作米 ミノゴメ エツタコノ

麥ニ似タル者也 肉食ノ解毒ニ用也 獸肉多食渴者為



飯食也

節草

ハマムキ 一名 弘法ムキ

有二種スケニ似タルト麥ニ似タルト有り海辺ニ在

モノ

若水云一名海米行方孝孺文集曰海米

薏苡人

トウムキ

異名 草魚目 輟耕録

有乙梅 郷薬月令

旭山云和名数珠玉ト云誤也本名トウムキ本唐種ニ

ハ此類三種有り堀馬場ニマルハ救荒ノ川穀也回々

米ハ大ズ、夕マ也薏苡ハ一年モノニ救荒本草云生

沱水縣田野中苗高三四尺葉似初生蜀秫葉微小葉間

叢間小葉花結子似草珠見微小味寸

救荒本草云回々米本草名薏苡一名解蠶一名屋茨一

名起實一名鬚鬚俗名珠兒又呼西蕃葛秋生真定平澤

及田野交趾生者子最大

集解下 芭莖 カミツリス、キ

璽子粟

和名 ケシ

異名 米穀花 羅山縣志

璽子 農政全書

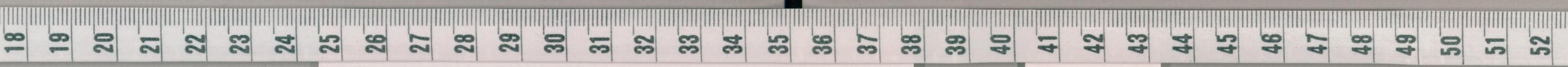
鶯粟 嘉興縣志

陽古志 璽子 郷名 郷薬月令

米 穀

嫩苗

阿芙蓉 ケシノヤニ



虞美人草 ヒナゲシ 秘傳老經云虞美人原名驟春一名
百般嬌一名胡蝶滿園春皆美其名而昏去也漸最多叢
生一名御化 八箇通志

姿態葱秀嘗因風飛舞儼如蝶翅扇動亦花中之妙品人
多有題咏種頃有八月望前下子于肥土圓上用灰蓋冬
月蓋澆若肥壅得法則未年同出千葉異色者更佳少留
子則花發多花時忌蓋花後再蓋又用千葉不易多得

綱目第二十四卷

菽豆類 十四種

大豆 和名 クロマメ

丹波産 龜山上呂 龜山領アマフシ村最上品

秋名 赤赤之誤 斑豆 クラカケマメ ウツラ豆

大豆黃卷 黑豆ノモヤシ

卷煎トテ黄蘗山ニテアフラアケニメ料理ニスル也

黄大豆 味噌マメ

赤小豆 アツキ 夏アツキ悪シ

和産 尾州各産 美濃 丹波 丹後 上呂 越後 河内

大和 山城 中呂 餛飩以水和麵作皮包菜肉糖蜜等餡

湯炊煮熟象餛飩不正之義今俗祀先者多用之味可



五月五日吞五枚壓六月以茄作飴食之療百疾

豈野豆謂之豈形如豆而小也黃蔓生也

腐婢 アツキノ花

腐婢有三種 豆花謂之腐婢葛花謂之腐婢又此二說

集解宗爽云腐婢豆花為是豆上当有小字

绿豆 フレトウ ヤエナリ

植豆 大フレトウ 摘緑ワセフレトウ 油緑小フレトウ

官緑 上高フレトウ 拔緑ラクテフレトウ

白豆 アツキ

大小有二種小莢豆也ユキノシタ ニヤホレアツキ

魯豆 タンキリ豆 子ツミノメ キウ子マメ

不種而此者指テ本邦俗謂魯豆

種類不一大小有二種

集解戎菽コエントウ 鹿豆 ヤフトリ 康藿別名

豌豆 ノラマメ エントウ

凡方書如麻豆大者是也

豈豆 ソラマメ 四月マメ 阿波方言

胡豆 エントウ 豌豆与異名同名

豇豆 サハケ

裙帶 十八サハケ 十八豇 十八サハケ 出于常楽縣志

食物本草云豉長者及二尺如帶名裙帶短者不及尺

菡豆 イレケレマメ シロイレケレ

有三色一名鵲豆 鞍耕録一名雪尾同氣

刀豆 タタマメ

有二種紅白

集解 毛豆 南人多種之亦黃大豆之類

黎豆 テンクマメ ハツセウマメ

異名 獺豆 虎豆 一種小者名馬豆亦名馬豆出

于郡芳譜 落花生異名 番豆 土露子 物理小識

長生果 本經逢原 香芋 秘傳元鏡

集解 蟹眼豆 林ノ中多種之也

落花生 大倉州志云落花生其莢葉與香芋同而花脫

墜地上即結子小於香芋味甘美

增定致富奇書云落花生甘平利五臟下氣清神藤蔓莢

葉似扁豆開花落地一花就地結一果其狀與香芋相類

和名 トウシシ豆

常熟縣志曰落花生三月栽引蔓花落地生子霜後味絕

美

松江府志曰落花生蔓生五月開黃花落地中結實似芋

霜雪後始甘

重修靖江縣志云落花生花間露滴而生下宜壅以虛土

雜穢

行厨集云落花生無別名出福建花落地成果如豆

苦馬豆 救荒本草云生延津縣郊野中在處有之苗高

二尺許莖似黃芪苗莖上有細毛葉似胡豆葉微小蒴裂

葉却大枚葉闊角紅紫花結殼如梅指頂大半頂間多虛

俗呼為半尿管內有子如葶子茶褐花子葉俱味苦採葉

煤熟換水浸去苦味淘淨油塩調食及取子水搗為麪作

燒餅蒸食皆可也

毛豆 食物本草 米豆 事物紀原

以上三豆未詳

間

綱目第二十五卷

造釀類二十九種

大豆豉

豆黃

豉豉瓜

ホロミノ類

豉醬豉ヒシラノ類

豆腐

一名 素君 鴻苞集

陳廩米

飯

青精乾石飯

飯當作飢

ソノイ、

藏書曰石飯飯黑如鑿珠時珍云入枌葉白楊葉豉十枚

柳一作栉

粥拾遺

蒼蓮 トウチヤ

葵菜 ワユアラヒ

麩 コガシ

饅 ヲシコモチ

糰 キマキ

釋名 角黍 キヒキマキ

寒具

蒸餅

女麩 小麥コウシ

ヒノカウシ

小麥丸カウシ

黄蒸

麩

異名 酒媒

媒麩 異名集

緑塵カウシ 八十時珍云

緑塵惟麩麩

神麩 無説

稻松二生傳 赤小豆ヲ煮ル

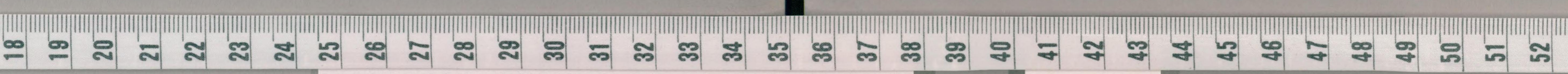
王好古 医聖元戎 三旁神麩法 白帛 白麩 一百斤

朱雀 赤小豆三斤 煮軟 去皮 細与前件相伴和

勾陳 蒼耳汁三升 青龍 青蒿汁三升 昂 黄蒿自然汁

騰蛇 野葱子汁四升 玄武 杏人四升 去皮尖 者麩乳湿用

奇



麴米春 麴道士 麴君 吳醴 楚醴

蘭生 瑞露 桑郎 索郎 玉薤 富水

九醇 十旬 屠蕪 石凍春 醴酥

燒春 土窟春 白墮 羅浮春 梨花春

物青春 秋露白 掃愁帚 釣詩鈞 般若湯

嗽口湯 荅刺速 願速康 青州從事 杜康

平原督郵 洞庭春色 上天美酒

直一先生 祛愁使者 破心將軍

酒ノ名ヲ聖ト云シ古ノ多キ聖ノ言ノ宜キ 家持

酒旗異名 酒旆 酒帘 酒望 望子 異名集

酒樽異名 黃目 雲壘 山壘 椰子榼

酒盃異名 玉窪 巨羅 音坡 擊落 東西

慢捲荷 無心螺 金蕉葉 玉蟬兒 扎忽刺速

大白 酒魁

女貞皮 子スミモチ 仙靈脾 イカリクサ 意苾人 トウシキ

百靈藤 和摩不知 白楊 ハコヤナキ 天冬 クサカツラ

白石英 シロケンシヤリ 芣 ナノハクサ 當歸 ヤマセリ

葛蒲 イハアヤメ 伏靈 マツホト 黃精 ナルコユリ

南藤 ツルハメ 和 ニナシ 松液 マツヤニ

柘根 ヤマクワノ根 原蚕 ニハレコノフシ 麋 ヲホシカ

燒酒 和ノ燒酒ノ類

葡萄酒

糟

異名 醅母 酒滓

米糝 コ又カ

叢史記徐廣傳叢音核駟按孟康曰麥糠中不破者也

又果中之核也

餲 ハセ

急就章曰餲之言散也熬稻米飯便矣散也古謂之張皇

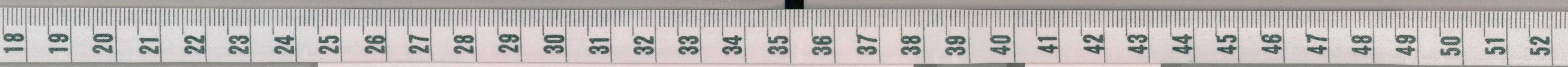
亦目其角張而大也

籩

齋按正字通餲注籩懶切音傘說文熬稻餲也本作餲
沂原者作檄通作糝旧本沈云熬稻非也又按餲餲注与

上說大異未知孰是

本草秘訣卷之六尾





国立国会図書館 タイトル『本草秘訣』 請求記号 特1-3405

ガラス使用